

[大城勝議員 登壇]

○3番 大城 勝君 3番議員大城 勝です。大きく4つの質問をします。質問1. サトウキビ収穫の機械化について。(1) 南風原町の過去5年間のサトウキビ原料生産量、生産農家戸数の推移はどうか。(2) サトウキビ生産は、沖縄県農業の基幹産業としての位置付けにも拘らず、ほとんどの農家が収穫は重労働で若者は農業離れが進み作業従事者の高齢化現象もみられてキビ作離れが進んでいる。この難局を打開するには、刈り取り作業の完全機械化しかなく、まさにサトウキビ収穫機械ハーベスターの導入は時宜を得ていると思います。町行政は、サトウキビ収穫の機械化にどのような見解を持っているのかお伺いします。(3) サトウキビ収穫機械利用経費補助金などの農家に対する支援策を問う。

質問2. 町道67号線の交通安全対策について。(1) 町道67号線と空港自動車道の桁下部分で交わる交差点があります。この交差点一帯は、道路沿いへ雑草が繁茂し、交差点を通過する運転手の視界を妨げています。交通安全上非常に危険であり、雑草除去の対応がとれないか。(2) 当該交差点の道路視界改善のために、カーブミラーなどの設置をして交通安全対策が施せないか。(3) 当該交差点内に駐車する車が多く見受けられます。交差点内を通過する車両にとっては危険度が高い。関係機関と連携して、交通安全の観点からの対処ができないか。

質問3. 町立図書館の利用について。各地の図書館で図書類のページが切り取られる被害が相次いでいる。本町図書館の被害状況はどうか。(2) 図書館内の図書類は、町民の財産でありそれを大切にしないのは道徳心の欠如であるばかりでなく言い訳の効かない犯罪であります。図書館の利用マナーも含め、今一度利用者に注意喚起を促す策を講じてもよいと考えるがどのような認識か。(3) 本町図書館には図書館ボランティア制度はあるか。なければ設置を検討してはどうか。

質問4. 陸上競技場の芝生利用について。(1) 黄金森公園陸上競技場の芝生は、名古屋グランパスのサッカーチームのためにあるかの印象を持っている町民もいると聞かすが、町行政はどのように認識しているか。以上、質問します。

○議長 宮城清政君 副町長。

○副町長 国吉真章君 質問事項1点目のサトウキビ収穫の機械化について(1)にお答えします。本町の過去5年間のサトウキビ原料生産量については、平成25年が3,820トン、26年4,370トン、27年3,881トン、28年4,420トン、29年4,360トンとなっています。農家戸数は、25年が227戸、26年210戸、27年224戸、28年213戸、29年201戸。5年前と現在を比較すると生産量は540トンの増産で農家戸数は76戸減少しています。

(2)についてお答えします。町としても生産農家の高齢化の状況や農家の収穫作業における労働力の負担軽減を図るための支援対策として、平成25年度補助事業によりハーベ

スター1台をJA南風原支店へ導入しており、今後もサトウキビ収穫の機械化を継続してまいります。

(3)についてお答えします。本町ではサトウキビ収穫機械利用農家に対する支援策として、ハーベスター利用農家が負担する使用料を対象にトン当たり500円の補助を行っております。

質問事項2点目の町道67号線交通安全対策について(1)にお答えします。那覇空港自動車道側道の管理は、沖縄県の管轄となっています。県南部土木事務所に要請をしたところ、6月中旬から月末までの間に除草作業を行うという返事をいただいております。

(2)についてお答えします。カーブミラーの設置は、自治会からの申請により町で行っております。設置箇所の道路管理者は沖縄県であり、県及び自治会と調整をしながら進めてまいります。

(3)についてお答えします。当該現場は日陰であるため、休憩と思われる駐車があることをたびたび確認しております。対応策としては、駐車禁止の看板設置や警察による見回りを要請してまいります。

○議長 宮城清政君 教育長。

○教育長 赤嶺正之君 質問事項3. 町立図書館の利用についてご質問にお答えいたします。(1)の本町町立図書館で図書類のページが切り取られる被害につきましては、現段階でそういった被害はございません。

(2)でございます。図書館マナーの注意喚起の掲示をしております。マナーを守らない利用者には口頭で注意をしております。

(3)でございますが、現在は導入しておりませんが、第1、第3木曜日に実施している赤ちゃんタイムの時に絵本読み聞かせボランティア等を予定しております。なお、今年度に10名分のボランティア保険料の予算を計上しております。

質問事項4. 陸上競技場の芝生利用に関するご質問にお答えいたします。(1)でございますが、黄金森公園陸上競技場及び野球場の芝生は、一括交付金を活用し黄金森公園活性化事業としてプロサッカーチームの春季キャンプや県内外のスポーツ合宿等を誘致する目的で陸上競技場、野球場の施設整備を行っております。また、プロサッカーチームや合宿以外でも整備された芝生で町あるいはまた各字老人会などのグランドゴルフ大会や町体協及び小中学生のサッカー・野球大会、陸上競技大会等で多くの町民が利用し喜ばれております。このように、黄金森公園陸上競技場、野球場の芝生は、プロサッカーチームだけでなく町民の皆さまにも利用していただくことが一番重要だと考えております。以上でございます。

○議長 宮城清政君 3番 大城 勝議員。

○3番 大城 勝君 ご答弁どうもありがとうございました。それでは、再質問を交えて私の考えを述べさせていただきたいと思います。サトウキビ収穫の機械化についてですが、新聞報道によりますと平成28年度のサトウキビ原料の沖縄県全体の生産量は、前年度の25パーセント増の90万トン台だと報じています。それでもサトウキビ生産量が多かった昭和40年ごろ、今から50年前でしょうか、それから大きく減少し、毎年減少傾向にあるとのことです。先ほど答弁いただきましたけれども、答弁をいただく前に、私なりに平成27年度の『統計はえばる』第12号のデータを調べてみました。ご答弁の内容もデータ情報は『統計はえばる』だと考えます。その統計によりますと、南風原町のサトウキビ生産量は、平成22年の4,935トンと100としますと、5年後の平成27年には3,881トンとなり、5年間で約22パーセントも減少しているのが読み取れます。キビ作農家としての厳密な意味での生産農家戸数は、この『統計はえばる』からは読み取れませんが、専業農家数の年次比較の数値から見ますと、確かにキビ生産量の年次減少率と同様に農家数も減少しているのが分かります。次は、衰退するキビ産業を復活させるためには、サトウキビ収穫機械の導入についてどのような見解をお持ちかということですが、世の中が機械化する中において、農業形態も大きく変容していつていると思われる時代に、昔のような全て手作業でのやり方では到底キビ産業としては成り立ちません。農業に従事する者も高齢化していつている現状では、機械化は必然的と考えます。答弁も同じ内容をいただき、ありがとうございました。次の質問にいきます。

南風原区域で稼働しているハーベスター機械は、先ほどの答弁で1台とありました。そこでお伺いします。町行政は、サトウキビ収穫機械のハーベスター導入を増やす方向で支援策を打ち出せるのか。改めて伺いたいと思います。

○議長 宮城清政君 産業振興課長。

○産業振興課長 金城郡浩君 今回のハーベスターの実績ですけれども、実際、ハーベスターの導入機については1台ですが、応援というかたちで周りからハーベスターは稼働させていただいております。それでこのハーベスターの今後の導入なのですけれども、われわれ行政としましては応援体制を使ってということで実質的には足りていない認識がございます。しかし、導入についてはサトウキビ組合と話し合いをしまして、どういうかたちでその維持、管理、それから生産量の増加を図っていくかを検討した上で検討させていただきたいと考えております。

○議長 宮城清政君 3番 大城 勝議員。

○3番 大城 勝君 どうもありがとうございました。次に移ります。

平成28年度のサトウキビ収穫機械利用経費補助金とあるのですが、その補助金の活用実績が集計されておれば、補助金額と農家戸数を教えていただけますか。

○議長 宮城清政君 産業振興課長。

○産業振興課長 金城郡浩君 26年度実績が約30万8,000円です。27・28年期の実績が48万5,300円。28・29年度の実績が49万7,600円ということです。戸数が把握できていません。どうもすみません。

○議長 宮城清政君 3番 大城 勝議員。

○3番 大城 勝君 48万、49万台ですね。平成29年度予算においては、サトウキビ収穫機械利用経費補助金としていくら計上されていますか。

○議長 宮城清政君 産業振興課長。

○産業振興課長 金城郡浩君 予算につきましては、59万程度を想定しているのですが、実績とOCR調査とを調整しながら、その予算については確定値を見るのではなくて実際の実績に合わせて修正するようなかたちを取っていますので、おおよそ50万程度というのが最終的な結果になるのかと考えております。

○議長 宮城清政君 3番 大城 勝議員。

○3番 大城 勝君 50万程度ですか。耕作放棄地や遊休地の解消に、今年から新設された農地利用最適化推進委員の皆さんの働きによっては、サトウキビの農地面積の増加にもつながると私は思っております。ハーベスター活用も増加すると予想されます。このように、ハーベスターの機械化活用増加が見込まれる中で、補助額予算にも見直しが必要と思われるのですが、先ほど50万と言っていましたかどうでしょうか。

○議長 宮城清政君 産業振興課長。

○産業振興課長 金城郡浩君 現実的な予算につきましては、最終的なOCRと作付け状況を見ながら調整させていただいております。われわれも55万程度を目標としているのですが、先ほどの中間管理機構を含めた遊休地解消につきましては、必ずしも全部サトウキビに回るということではなくていろんな季節野菜も含めての遊休地扱いになっています。ですから、極端にその働きによってサトウキビが増産されるということは考え難い

とは思っているのですが、ただ、ゆがふ製糖さん、それからサトウキビ協議会含めてのそのへんについての事業がありまして、別枠でそういう事業も実施しています。南風原町内については、サトウキビ農家に直接つながる遊休地というかたちは少なく、組合は地区外にサトウキビの生産が多いという実績がございます。先ほどおっしゃられていた農業委員会の組織としては地区内での作業となりますので、実績として遊休地はサトウキビのほうに回らないのではないかと考えています。地区内での云々はそれ以外として、増産としてはキビ組合と十分に話し合いをして対策は練っていきたいと考えております。

○議長 宮城清政君 3番 大城 勝議員。

○3番 大城 勝君 では、どう変化しても50万、60万の域というわけですね。どうもありがとうございました。私自身が去年から今年ですがサトウキビ生産に加わり、ハーベスター機械の導入を実際にやってみました。農家の労働負担が大幅に軽減され、キビ作農家を楽にできると実感できました。私も高齢者の一人なのですが、これなら高齢者でもやる気が出ると思うのですよね。町行政は、キビ作農家を元気づけるためにも、また元気な高齢者のためにもハーベスターをもっと導入して、キビ作農業を活性化して欲しいと思いますが、今一度ご答弁をいただきたいと思います。

○議長 宮城清政君 産業振興課長。

○産業振興課長 金城郡浩君 サトウキビ組合、津嘉山支店、それから南風原支店の両方から導入についてはございます。実際の機械導入と手刈り応援隊の割合を見ますと、機械は25パーセント程度で、町内はかなり小さい区画が多いことから大型の機械ではなかなか難しいということで、効率性の問題もあるようです。われわれとしては組合ときちっと話し合いをしまして、どういった機械だと増産、それからお手伝いになるかも踏まえて検討しながら増産のお手伝いをしていきたいと考えております。以上です。

○議長 宮城清政君 3番 大城 勝議員。

○3番 大城 勝君 どうもありがとうございました。ぜひそうしてください。

質問事項2. 交差点での交通安全対策についてですが、この交差点はJA南風原支店への農家の人たちが頻繁に利用する交差点であります。また、周辺地域の生活道路の役割も果たし通過車両も多いです。交差点を通過する車は、毎回、危険を感じながらの運転でもあるのですね。1日も早い対策が必要であると考えますが、先ほどの答弁によりますとすでに関係機関へ連絡し早期の対応をしていただけるということでもあります。どうもありがとうございました。

次は図書館の利用についてであります。日本図書館協会によりますと、各地の図書館で小中学校や高校の歴史をまとめた学校史や記念誌からクラスの集合写真や学校行事などの写真が切り取られたり破られたりする被害が相次いでいるとのことでもあります。本町の図書館では幸いにもそのような被害報告はないとのことでした。これからもそうあって欲しいと思います。次に行きます。

最近、他の自治体の図書館では、その利用マナーの低下が深刻な問題となっていると聞きます。閲覧席の独占をしたり、居眠り、図書の破損、館内での飲食など、係員に注意されれば逆切れという利用者が増えていると聞きます。本町の図書館ではそんな際立った事例はないと考えたいが、いずれにせよ利用者への注意喚起は必要だと考えます。文書によるか音声によるかいろいろやり方はあると思うのですが、答弁も同じ内容ではありませんでした。どうもありがとうございました。

次は、図書館ボランティアについてですが、答弁では現在は導入していないということでした。ボランティアの活動内容としていろいろあると思うのですが、どのようなことがあるか調べてみました。活動内容としては、大きく3つほど挙げられると聞きます。児童サービスとして、幼児や児童への読み聞かせなど。2つ目に障がい者サービスとして点字図書の作成など。そして3つ目に図書館内のサービスとして貸出業務などのカウンター対応などがあると聞きます。図書館ボランティアとして補助的業務にも就けるし、図書館運営にも貢献できると考えます。今後、本町もこの図書館ボランティアの仕組みを調査研究して取り入れる方向へ持って行って欲しいと考えます。

先日、町内の学校公開日があり、私は翔南幼稚園と翔南小学校に出向きました。小学校側の報告では、全国学力状況の調査からは素晴らしい成績だとのことでした。学習の基礎である読書を気持ちよく楽しめる環境であってこそ成績も高まると思います。町行政は、図書館ボランティアの参加を考えると、町内におられる読書好きのシニアにも目を向けて、今までに培ってこられた豊富な知識と経験を活用していただき、図書館運営にも期待できると考えます。行政には、質の高いものを目指して頑張ってもらいたいと思いますが、今一度その意気込みをお聞かせください。

○議長 宮城清政君 教育部長。

○教育部長 宮平 暢君 先ほど教育長からも答弁がありましたとおり、読み聞かせボランティアを今後予定しております。そのあと、図書館の整理とか補助業務へ広げて多面的な図書館のボランティアへつなげていければと思っており、図書館ボランティア活用について一步一步進めていければと考えております。

○議長 宮城清政君 3番 大城 勝議員。

○3番 大城 勝君 ぜひ頑張ってください。最後の4つ目、陸上競技場の芝生利用についてですが、ここで高齢者の福祉について少しだけ触れてみたいと思います。先月、南風原町の老人会主催によるグランドゴルフ大会があり、黄金森運動公園の競技場の芝生の上で盛大に行われました。私は記録係として参加しました。競技運営もスムーズにいき、参加者も大いに協議を楽しまれたものと思います。そこでこの協議に町議会、役場もチームを組んで、オブザーバーのかたちでもいいですので参加できないか提案します。ご検討いただけるか教えてください。

○議長 宮城清政君 教育部長。

○教育部長 宮平 暢君 同大会につきましては、年齢制限もございますことから、われわれ職員は60未満ということがありますが、それ以外にも町の各種団体のグランドゴルフ大会がございましてそれについては町当局、教育委員会も参加しています。そういった大会もあります。

○議長 宮城清政君 3番 大城 勝議員。

○3番 大城 勝君 もっとも該当者は何名かおられるのですがね。オブザーバーというのは、年齢は関係なくというところに逃げ道があるのでそのへんも活用してもいいと思いますよ。

さて、陸上競技場の芝生は、サッカーの名古屋グランパスキャンプの受入れをきっかけに整備なされたものでありますが、町民にはまだまだサッカーに特化した芝生で、サッカーのためにあるかの印象があります。そこで町役場や町議会が一緒になって高齢者の方々とグランドゴルフを興じるなどによって、陸上競技場の芝生は町民皆の共有物だとの認識をより強くしてもらえると考えます。高齢者がプレーするグランドゴルフに町長杯を創設しても良いと考えますが、それに関して町長の見解がおありであればお伺いしたいと思います。

○議長 宮城清政君 町長。

○町長 城間俊安君 陸上競技場フィールドの活用について、ありがとうございます。町民の皆さん方から景観上も素晴らしいと、陸上競技場周辺をウォーキングなさる方々からも景観、また暑い最中における癒しの場にもなっていると褒めの言葉を聞いております。以前はアスファルトの上に芝生が生えているような感じでしたが、今は本当に素晴らしい青々とした冬芝・夏芝で、暑い最中でも癒しをもたらすような状況になってきております。各種スポーツで青年、少年の皆さん方の町長杯を設けておりますが、議員の皆さん

方にも老人会会員の方々がたくさんいらっしゃると思いますので、議員の皆さん方が1つのチームとしてプレーすること、字・自治会としてではなく議会議員チームとして老人会と話し合いをすることも大事かと痛感しております。シニアのスポーツ大会においてもいろいろ杯を設けておりますし、議員の皆さん方も賛同であればぜひ大きな大会にして、また老人会の中にはグランドゴルフのサークルもありますので、老人会の皆さん方が町長杯の要望があれば検討はしていきたいと思っております。ゲートボールは町長杯もあります。老人会、各種団体からの要望に応じていくような体制はとっているということをご理解をお願いしたいと思います。

○議長 宮城清政君 3番 大城 勝議員。

○3番 大城 勝君 どうもありがとうございました。町長ご自身も参加されて、強くなり過ぎてご自分で町長杯を取られたら困るのですけれどもね。以上で私の一般質問を終わります。